



2018年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2017年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 生化学工業株式会社

コード番号 4548 URL <http://www.seikagaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 建

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 針生 敦司 TEL 03-5220-8950

四半期報告書提出予定日 2017年11月13日 配当支払開始予定日 2017年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第2四半期の連結業績(2017年4月1日～2017年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第2四半期	15,495	2.7	2,218	183.4	4,794	248.3	3,550	250.4
2017年3月期第2四半期	15,085	△5.4	783	△61.8	1,376	△46.5	1,013	△47.8

(注)包括利益 2018年3月期第2四半期 4,065百万円 (-%) 2017年3月期第2四半期 △180百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第2四半期	62.73	—
2017年3月期第2四半期	17.87	—

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第2四半期	84,362	73,692	87.4
2017年3月期	80,048	70,646	88.3

(参考)自己資本 2018年3月期第2四半期 73,692百万円 2017年3月期 70,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	13.00	—	18.00	31.00
2018年3月期	—	13.00	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,300	2.4	1,500	17.0	3,750	51.4	2,700	51.0	47.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、『添付資料』P.8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年3月期2Q	56,814,093株	2017年3月期	56,814,093株
② 期末自己株式数	2018年3月期2Q	209,709株	2017年3月期	209,561株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2018年3月期2Q	56,604,474株	2017年3月期2Q	56,720,945株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、2017年11月7日より当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2017年4月1日～2017年9月30日)の売上高は、国内アルツの前年同期における出荷集中の反動や中国アルツの現地在庫調整があった一方で、米国スパルツFXの現地在庫積み増しによる出荷増や円安効果などがあり、前年同期と比べ2.7%増の154億9千5百万円となりました。

増収に加え、研究開発費の一部が第3四半期以降にずれ込むなど、販売費及び一般管理費が減少したことにより、営業利益は183.4%増の22億1千8百万円となりました。受取ロイヤリティーの大幅な増加や保有外貨建資産の為替評価が差益に転じたことなどにより、経常利益は248.3%増の47億9千4百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は250.4%増の35億5千万円となりました。

①セグメント別の売上概況

<医薬品事業>

- ・国内医薬品(84億5千3百万円、前年同期比0.8%減)

関節機能改善剤アルツは、市場全体がほぼ横ばいで推移するなか、前年同期に新容器投入に伴う販売増があった反動を受け、医療機関納入本数及び当社売上は微減となりました。

眼科手術補助剤オベガン類は、2016年7月に発売したセルガンの積極的な販促活動により市場浸透が順調に進み、医療機関納入本数及び市場シェアが大幅に拡大し、当社売上も増加しました。

内視鏡用粘膜下注入材ムコアップの当社売上は、前年同期並みとなりました。

- ・海外医薬品(35億8千6百万円、同11.1%増)

単回投与の関節機能改善剤ジェル・ワンは、米国における現地販売数量が引き続き増加しています。当社売上は円安効果があったものの、前年同期に製品のラベル変更に伴い出荷が集中した反動や、一部大口顧客への価格対応に伴う現地販売価格低下の影響を受け、前年同期並みとなりました。

5回投与の関節機能改善剤スパルツFXは、競合環境が厳しさを増すなか、米国現地販売は微減となりましたが、現地在庫積み増しに伴い出荷が集中したことから、当社売上は増加しました。

中国向けアルツは、政府の価格抑制策等による影響が一巡しつつあり現地販売は微増となりましたが、当社売上は現地在庫調整に伴い減少しました。

- ・医薬品原体(5億1千9百万円、同3.1%減)

ヒアルロン酸は横ばいで推移しましたが、コンドロイチン硫酸の出荷タイミング要因により、売上は微減となりました。

これらの結果、医薬品事業の売上高は125億5千9百万円(同2.3%増)となりました。

<LAL事業>

国内における透析病院向けの販売が減少した一方、米国子会社を中心としたエンドトキシン測定用試薬等の海外販売が堅調に推移し、売上高は29億3千6百万円(同4.7%増)となりました。

②研究開発活動

当社グループは、専門分野としている糖質科学に研究開発の焦点を絞って、世界の人々の健康で心豊かな生活に貢献する『グローバル・カテゴリー・ファーマ』として発展することを目指しています。事業成長の鍵を握る新薬の早期かつ継続的な上市を実現するために、研究開発機能を強化するとともに、内外における糖質研究ネットワークの拡充に努めています。

当第2四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、32億5百万円(対売上高比率20.7%)となりました。研究開発活動の主な進捗状況は、以下のとおりです。

国内承認申請中の腰椎椎間板ヘルニア治療剤SI-6603は、時間を要しているものの、当社としては審査が進捗していると考えており、引き続き早期の承認取得に向けて努力してまいります。

米国で実施したSI-6603第Ⅲ相臨床試験は、薬理効果が認められた一方、主要評価項目である投与後13週での下肢痛軽減において統計学的に有意な改善効果が認められませんでした。なお、副作用等で大きな懸念は認められず、本剤の安全性が確認されました。今後、米国における第Ⅲ相臨床試験の早期の再実施に向けて、米国食品医薬品局(FDA)や、ライセンス先であるフェリング・ファーマシューティカルズ社と協議しながら検討・準備を進めてまいります。

変形性関節症治療剤SI-613については、2017年9月に小野薬品工業株式会社と日本における共同開発及び販売提携に関する契約を締結しました。また、同月にSI-613の腱・靭帯付着部症を対象とした後期第Ⅱ相臨床試験を共同で開始しました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期において、利益面が2017年5月12日に公表しました通期の連結業績予想に達していますが、研究開発費が第3四半期以降に集中することなどを踏まえ、同連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,301	5,943
受取手形及び売掛金	7,954	9,626
有価証券	4,290	3,160
商品及び製品	3,384	3,378
仕掛品	2,106	2,302
原材料及び貯蔵品	1,315	1,489
繰延税金資産	919	941
その他	918	3,767
貸倒引当金	△6	△1
流動資産合計	28,186	30,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,705	22,682
減価償却累計額	△11,167	△11,499
建物及び構築物(純額)	11,537	11,183
機械装置及び運搬具	22,931	22,897
減価償却累計額	△15,037	△15,709
機械装置及び運搬具(純額)	7,893	7,188
土地	931	929
リース資産	148	183
減価償却累計額	△76	△96
リース資産(純額)	72	87
建設仮勘定	1,247	1,288
その他	5,409	5,574
減価償却累計額	△4,375	△4,592
その他(純額)	1,034	981
有形固定資産合計	22,716	21,660
無形固定資産		
その他	479	637
無形固定資産合計	479	637
投資その他の資産		
投資有価証券	25,794	28,585
その他	2,878	2,877
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	28,665	31,455
固定資産合計	51,861	53,753
資産合計	80,048	84,362

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,846	1,819
1年内返済予定の長期借入金	285	285
リース債務	35	39
未払金	2,931	3,158
未払法人税等	110	1,119
賞与引当金	614	625
その他	370	413
流動負債合計	6,194	7,460
固定負債		
長期借入金	142	—
リース債務	48	61
繰延税金負債	1,709	1,935
退職給付に係る負債	349	331
資産除去債務	38	38
その他	918	841
固定負債合計	3,207	3,208
負債合計	9,401	10,669
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,840	3,840
資本剰余金	5,301	5,301
利益剰余金	57,622	60,154
自己株式	△344	△344
株主資本合計	66,420	68,952
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,241	4,796
為替換算調整勘定	395	257
退職給付に係る調整累計額	△410	△313
その他の包括利益累計額合計	4,225	4,740
純資産合計	70,646	73,692
負債純資産合計	80,048	84,362

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
売上高	15,085	15,495
売上原価	6,570	6,517
売上総利益	8,514	8,978
販売費及び一般管理費		
販売手数料	865	859
人件費	982	989
賞与引当金繰入額	165	169
退職給付費用	71	70
研究開発費	4,109	3,205
その他	1,537	1,465
販売費及び一般管理費合計	7,731	6,759
営業利益	783	2,218
営業外収益		
受取利息	30	31
受取配当金	154	182
為替差益	—	88
投資有価証券売却益	12	159
受取ロイヤリティー	565	2,000
その他	56	140
営業外収益合計	819	2,602
営業外費用		
支払利息	16	14
為替差損	207	—
その他	2	12
営業外費用合計	226	26
経常利益	1,376	4,794
税金等調整前四半期純利益	1,376	4,794
法人税、住民税及び事業税	405	1,269
法人税等調整額	△42	△25
法人税等合計	362	1,243
四半期純利益	1,013	3,550
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,013	3,550

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期純利益	1,013	3,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△594	554
為替換算調整勘定	△719	△137
退職給付に係る調整額	119	97
その他の包括利益合計	△1,194	514
四半期包括利益	△180	4,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△180	4,065
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率に係る法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含まれております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自2016年4月1日至2016年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,281	2,803	15,085	—	15,085
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,281	2,803	15,085	—	15,085
セグメント利益	208	574	783	—	783

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自2017年4月1日至2017年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,559	2,936	15,495	—	15,495
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,559	2,936	15,495	—	15,495
セグメント利益	1,677	541	2,218	—	2,218

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。